

THE JOURNAL OF OHARA INSTITUTE FOR SOCIAL RESEARCH

No. **763** May 2022

大原社会問題研究所雑誌

大原社会問題研究所雑誌

763 2022.5

七六三

【特集】

第34回国際労働問題シンポジウム

COVID-19危機からの持続可能な回復と技能開発

二〇二二年五月

Special Issue : The 34th Symposium on International Labour Issues Sustainable Recovery from the COVID-19 Crisis and Skills Development : Reskilling / Upskilling

Introduction to the Special Issue	FUJIWARA Chisa
Keynote Lecture : "Sustainable Recovery from the COVID-19 Crisis and Skills Development : Reskilling / Upskilling"	Srinivas B. Reddy
Presentation from the Academics.....	TSUTSUI Miki
Presentation from Practitioners	SASAKI Myogetsu
Comment from the Government's Perspectives	UCHINO Tomohiro
Comment from the Workers' Perspectives	GONO Akiko
Comment from the Employers' Perspectives.....	TANAKA Tsuneyuki
Discussion	

Article

Civil Service Recruitment, Selection and Gender Information	MURAO Yumiko
---	--------------

Event Report

Symposium on the 100th Anniversary of Max Weber's Death "The Crisis of Academic Knowledge and Max Weber: Beyond Scientism and Anti-intellectualism"	SUZUKI Munenori
---	-----------------

Book Reviews

SANO Yoshihide, <i>Convergence and Diversity of Personnel Management in the UK and Japan: A Comparative Study of Employment Systems in Department Stores</i>	UEDA Masashi
OKANOUCHI Tadashi, <i>Perspectives of Global Basic Income Scheme: Dialogue with Critical Development Studies and SDGs</i>	TOSA Hiroyuki
KAIDA Kiyomi, <i>Gender and Development in Africa: Women's Income-generating Activity and Intra-household Decision Making</i>	NIIMURA Megumi
ERA Satomi, <i>Skills and Migrant Workers in Construction: A Comparative Study on the Industrial Restructuring in Japan and the U.S.</i>	MINAMI Shuhei
Ohara Institute for Social Research, and Akira Suzuki, eds., <i>Workers and Pollution / Environmental Issues</i>	MORIHISA Satoshi

Bibliography of Publication on Labour and Social Issues

The Institute's Activities in January 2022

OHARA INSTITUTE FOR SOCIAL RESEARCH

4342, Aiharamachi, Machida-shi, Tokyo, 194-0298, Japan

web site : <http://oisr-org.ws.hosei.ac.jp/>

e-mail : oharains@adm.hosei.ac.jp

編集(兼)発行人

法政大学大原社会問題研究所

〒194-0298 東京都町田市相原町4342 TEL 042(783)2305

定価1,018円(本体926円+税10%)

年間購読 12,000円(税込)

【特集】第34回国際労働問題シンポジウム

COVID-19危機からの持続可能な回復と技能開発——Reskilling / Upskilling

特集にあたって	藤原千沙	1
基調講演(ビデオメッセージ)	スリニバス・B・レディー	3
《Reskilling / Upskilling》を「人間中心的」に理解する	筒井美紀	9
地域の需要と人間を中心とした技能開発	佐々木妙月	16
ILO総会出席者コメント——政府の立場から	内野智裕	21
ILO総会出席者コメント——労働者の立場から	郷野晶子	23
ILO総会出席者コメント——使用者の立場から	田中恒行	25
ディスカッション		27

■論文

公務員の採用選考と性別情報 ——差別と闘うツールとしてのジェンダー統計	村尾祐美子	33
--	-------	----

■イベント報告

マックス・ヴェーバー没後100年シンポジウム 学知の危機とマックス・ヴェーバー	鈴木宗徳	49
--	------	----

■書評と紹介

佐野嘉秀著『英国の人事管理・日本の人事管理』	上田眞士	63
岡野内正著『グローバル・ベーシック・インカム構想の射程』	土佐弘之	68
甲斐田きよみ著『アフリカにおけるジェンダーと開発』	新村恵美	72
惠羅さとみ著『建設労働と移民』	南 修平	77
法政大学大原社会問題研究所／鈴木玲編著 『労働者と公害・環境問題』	森久 聡	82

社会・労働関係文献月録		87
所報 2022年1月		91

発行／法政大学大原社会問題研究所

発売所／法政大学出版局 3330-55001-7710

〒102-0071 東京都千代田区富士見2-17-1

TEL 03(5214)5540

郵便振替口座 00160-6-95814

一年間に起きた社会・労働分野の変化と
課題がわかる貴重なデータブック

最新2021年版 第91集

日本労働年鑑

法政大学 大原社会問題研究所 編

— おもな内容 —

- 序章 政治・経済の動向と労働問題の焦点
- 《特集1》 コロナ禍の雇用・暮らしへの影響とその構造的背景・政策課題
- 《特集2》 医師の長時間労働問題と労働運動
- 第1部 労働経済と労働者生活
- 第2部 経営労務と労使関係
- 第3部 労働組合の組織と運動
- 第4部 労働組合と政治・社会運動
- 第5部 労働・社会政策
- 《付録》 労働組合の現状 / 労働組合名簿 / 統計 / 年表

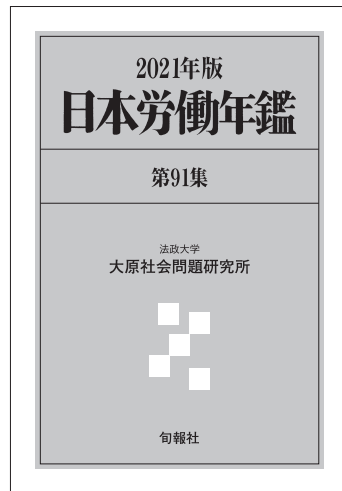
本年鑑5つの特徴

- ① その年に起きた社会・労働分野の変化や問題、課題を正確に記録、解説。「特集」と「5つの基本テーマ」で構成、収録。
- ② 特に重要なテーマについては、「特集」でさらに深く詳しく解説。
- ③ 政治・経済・経営・社会保障などの視点からも論述。
- ④ 理解が深まる豊富な図表とグラフ。
- ⑤ 社会全体の動きやポイントになる出来事を6つの分野に分けて「年表」で巻末に収録。

ハーバード大学歴史学部教授(日本近現代史、労働史)
アンドルー・ゴードン

『日本労働年鑑』は、日本の社会、政治、社会政策の現在と過去の変容に関心のある人にとって貴重な情報源となります。過去50年で、おそらく今日ほど労働問題とそこから派生する経済、教育、社会福祉、社会運動の諸分野の課題が多くの人々の関心と呼んでいる時期はありません。私がこれらの問題について調べるとき、バランスのとれた詳しい情報源として最初に参照するのは『日本労働年鑑』です。

推薦します



本体16,500円(税込)
A5判・上製・568頁

旬報社 〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町544 中川ビル4F
電話(03)5579-8974 FAX(03)5579-8975 <http://www.junposha.com/>

日本労働研究雑誌

No.741 2022年4月号 定価 937円(本体852円) 年間購読 11,244円(税込)

特集「労働統計の現在とこれから」

- エッセイ 統計を利用するにあたっての留意点 小原美紀
 - I 政府統計
 - 国勢調査 宇南山卓 / 労働力調査 篠崎武久 / 就業構造基本調査 玄田有史 / 賃金構造基本統計調査 川口大司, 鳥谷部貴大 / 毎月勤労統計調査 肥後雅博 / 社会生活基本調査 石田賢示 / 国民生活基礎調査 西郷浩 / 派遣労働者実態調査 島貫智行 / 就業形態の多様化に関する総合実態調査 高橋康二 / 外国人雇用状況の届出 町北朋洋
 - II 統計(データ) タイプ
 - サーベイ調査の今後 藤原翔 / 労働統計としてのパネル調査の案内 坂本和靖 / 自治体行政データ 田中隆一 / 労働分野におけるオルタナティブデータの活用 森脇大輔 / 国際比較データ 卯月由佳
- 書評 沢井実 著『技能形成の戦後史——工場と学校をむすぶもの』 市原 博
三輪卓己 著『ミドル&シニアのキャリア発達——知識労働者にみる転機と変化』 原 恵子
- 論文Today 職場における学習効果を測る 菊池信之介
- フィールド・アイ コーヒーを片手に (スウェーデンから③) 奥山 陽子

独立行政法人 労働政策研究・研修機構 〒177-8502 東京都練馬区上石神井 4-8-23
☎ 03-5903-6255

労働の科学

Digest of Science of Labour

2022年3月号 77巻3号 定価 1,200円(税込)
年間購読 13,000円(税込)

3

【特集】多様な視点から防災について考える

- ◆ 災害発生時のトイレ・衛生管理を考える 日本トイレ研究所
- ◆ ジェンダー視点から見た防災政策と課題 浅野幸子
- ◆ 災害伝承碑に学ぶ未来への警鐘 高瀬 正
- ◆ 巻頭言 101年目の挑戦—労研の役割とあり方③ 北島洋樹
- ◆ 特別企画 100周年記念倉敷シンポジウム 基調講演 江上 剛
- ◆ 労研アーカイブを読む・74 岸田孝弥
- ◆ 凡夫の安全衛生記・61「法令より少しだけ早く」現実が求めた取り組み 福成雄三
- ◆ チャレンジ! SDGs・10 泉 貴嗣
- ◆ 漂流者たち—クミジヨの肖像・12 本田一成
- ◆ 芸能従事者の今・9 森崎めぐみ
- ◆ ILOインド南アジアこぼれ話・11 川上 剛
- ◆ 「#教師のバトン」で伝わる教職員の過酷な勤務環境 藤川伸治
- ◆ 大原孫三郎と清水安三・9 兼田麗子

〒151-0051 渋谷区千駄ヶ谷 1-1-12 桜美林大学内3階 公益財団法人 大原記念労働科学研究所
TEL: 03-6447-1435 FAX: 03-6447-1436 HP: <http://www.isl.or.jp/>